

築瀬小だより



やな ぜ

令和5年10月 第6号 発行責任者 新村 幸江

やな ぜ 魂

ともに進む

〈共感・共汗・共歓〉

たくましく

あかるく

あたたかく

耳を澄ませば虫の音が聞こえ、空を見上げれば清々しい秋空が広がり、日常の心地良さが日々増えています。深まりゆく秋に向けて1学期末には、児童集会を実施したり、音楽や文化に触れる体験活動を取り入れたりしてきました。2学期も子供たちの更なる前進・成長を期待し、互いに共感・共汗・共歓し合える日常を積み重ねていきます。保護者の皆様、地域の皆様には、1学期に引き続き、2学期も温かなご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

【代表児童の言葉】

【第1学期終業式・第2学期始業式】

子供たちの活躍が見える、子供たちの温かな心を感じる儀式となりました。仲間の頑張りや目標を真剣に聞こうとしたり、自然に称え合ったりできる姿は、まさにやな ぜ 魂「ともに進む」の体现。全校生で高め合う雰囲気は実に心地良いものでした。



★第1学期終業式での講話より ～2学期は「チャレンジ+チェンジ」へと～

1学期に伝えてきた子供たちへのメッセージ「チャレンジ・挑戦」について、集団の側面からその取組を紹介しました。「いつでも、誰にでも元気なあいさつをしよう」「靴箱の靴をきちんとそろえよう」「給食・牛乳残しゼロを目指そう」「全員でリコーダー奏ができるようにしよう」「お互いの良さを見つけ伝え合おう」「長縄全員ジャンプに挑戦しよう」「苦手なこともあきらめないでがんばろう」「分からないところは分かるまで教え合おう」と、すばらしい挑戦ばかりでした。次々に紹介していくと、自らの取組に堂々と挙手したり、他クラスの挑戦を「すごい!」「頑張ってる」と感嘆・応援の言葉を発したりする姿が生まれました。「認められて嬉しいな」「誇りに思うな」「みんなも頑張っている」「自分もがんばるぞ」こうした気持ちにつながることを願っていたので、その姿は嬉しい限りです。突撃インタビューをすると「難しいこともあるけれど、このことがクラスの輪を一層深めたり、すばらしい成果につながったりすると思うので頑張れる」と、この返答にも驚きました。自分を肯定し、他者の頑張りも認め励まし合う。こうした共生の中で、共感・共汗・共歓の良さを味わえるよう2学期も「チャレンジ」そして「チェンジ」を期待し



【今年度の重点目標】

★代表委員によるいじめ根絶集会 ～自分自身の日常を振り返る～



子供たちがいじめについて本気で考える集会にしようと、代表委員が主体となり夏休み前から計画・準備に取り組んできました。当日は、「いじめとは」の確認から始まり、身近な出来事を再現して自分事として考えてほしい、より良い仲間との関わり方を伝えたい、これからに生かしてほしいといったメッセージ性の高い集会となりました。さらに、「**築瀬小 みんななかよし いじめゼロ**」のスローガンを作成して、日常的に呼びかけてきた取組は、自分たちの手で笑顔あふれる楽しい学校を創る気運を高める姿であり、たくましさを感じました。



集会の最後には、スローガンにある「みんななかよし」の姿を子供たちに問いかけました。悲しい思いを誰一人していない姿であり、互いに仲間の気持ちを考えて声を掛け合うことを伝え、そのために、「ごめんね」「ありがとう」などの温かい言葉を遣える自分になっていこうと。後になっても「いけなかったな」と気付いたときには、勇気をもってやり直そうとする大切さを伝えました。

【外部機関等を活用した体験的な活動】

★歯の健康教室(3年生)



歯科衛生士のご指導のもと、今年度は染出し液を自分の歯に塗り、磨き残しの汚れを確かめました。

★ふれあい文化教室～和太鼓体験～(4年生)



★芸術鑑賞教室(全学年)



プロの演奏を目前で鑑賞した子供たち。「美しい歌声、高音がすごい!」「元気が湧いてきた!」「ヴァイオリンの音でこんなにも人の心を動かすことができるなんて、すばらしい楽器だ!」と感動しきり。

男体雷太鼓を講師にお招きし、締太鼓と長胴太鼓の2種類の太鼓に挑戦。果敢な太鼓演奏に講師の先生から「あっぱれ!4年生」の称賛あり!

★カルビー工場オンライン見学(3年生)



カルビー清原工場見学をオンラインで行いました。場面ごとに解説者から質問あり、説明あり。子供たちは「なるほど!」連発で、学びの収穫大。